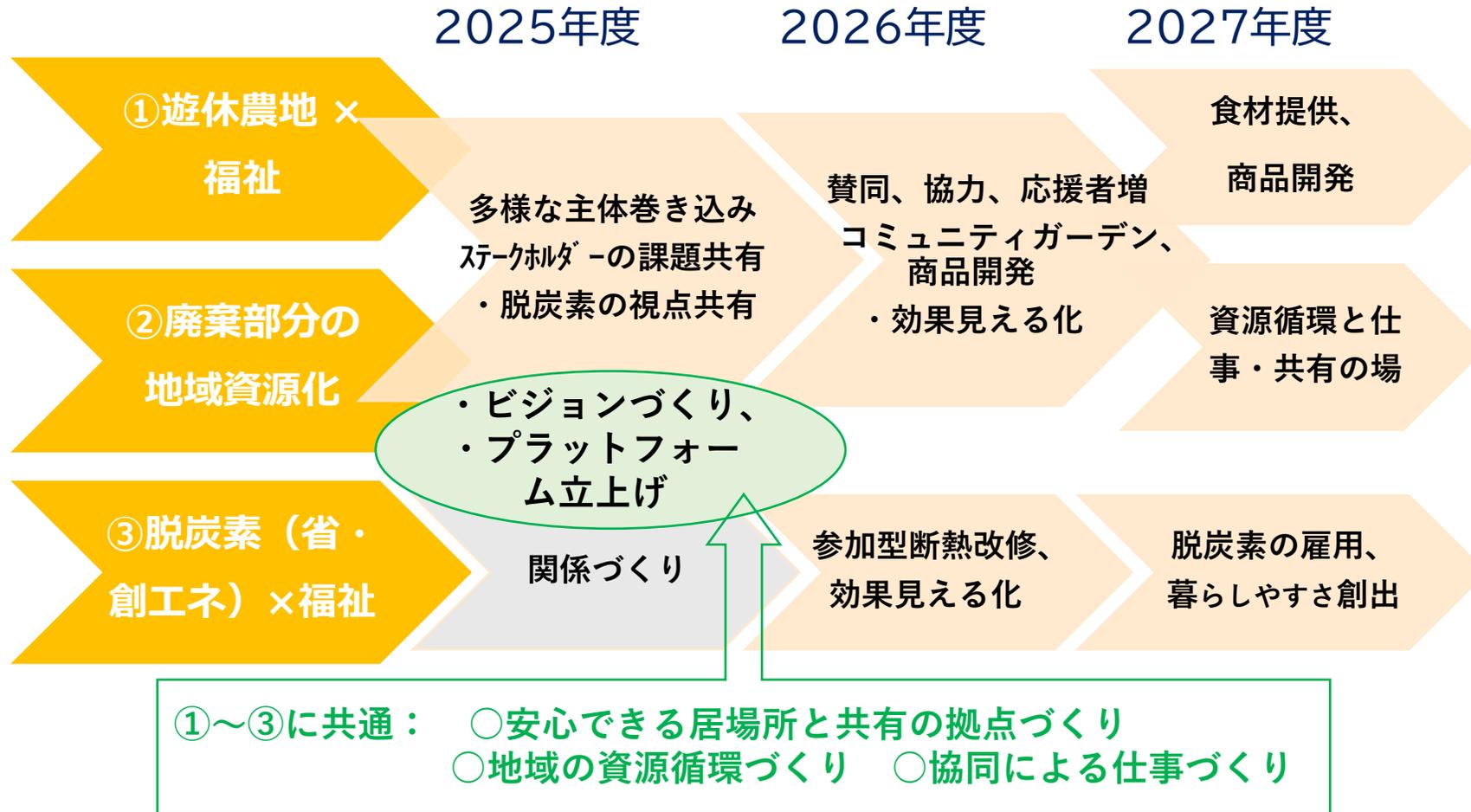




# (参考)ローカルSDGs事業づくりイメージ



- ・ 関係者と脱炭素の視点を共有し、効果が見える化しながら(＝ローカルSDGs事業としての共感を広げながら)、担い手探し、事業づくりを進めていく。
- ・ ①、②のステークホルダーから、③の協力者、賛同者を広げていく

# 3カ年状態目標

## ■ 2027年度末の状態目標

- ・新事業の立ち上げ。実施主体は、新しく労働者協同組合などが設立されている。
- ・新しい仕事が生まれて、地域資源の循環に基づく産業が活発化、遊休農地の活用が進んでいる。
- ・プラットフォームが活性化している。

## ■ 2026年度末の状態目標

- ・地域を将来につなぎ誇れる地域であり続けるために必要なこと、自身が挑戦したいことを気軽に言い合い、対話し、応援し合う場をつくるプラットフォームが構築されている。
- ・大豆とホンモロコの商品開発が進んでいる。
- ・レシピ開発のイベント（コンテスト等）を開催し、賛同者、協力者、応援者などを増やしている。

## ■ 2025年度末の状態目標

- ・コアメンバーが形成されている（イメージ：平尾豆腐店、川のほとり、ホンモロコ共和国、鳥取大学教授、商工会青年部、鳥取市、八頭町、鳥取県、鳥取県生活協同組合など）
- ・コアメンバーと共にビジョンづくりができている。
- ・色々な主体を巻き込み（隼lab.など）、地域の課題や目指すビジョンについて話し始めている。